

平成 29 年 3 月 6 日
参考資料

第 5 回神奈川県・米陸海軍意見交換会の結果について

本日、県庁において、神奈川県知事と在日米陸海軍司令官との間で、「災害時の相互協力の促進」について、防衛省・自衛隊からゲストを招いて意見交換会が開催されましたのでお知らせします。

1 出席者

神奈川県知事	黒岩 祐治
在日米陸軍司令官	ジェームズ・F・パスカレット 少将
在日米海軍司令官	マシュー・J・カーター 少将
東部方面総監	森山 尚直 陸将 (ゲスト)
横須賀地方総監	道満 誠一 海将 (ゲスト)
南関東防衛局長	堀地 徹 (ゲスト)

2 意見交換の概要

次のとおり意見交換を実施した。

ビッグレスキューかながわ

- ・ 県の総合防災訓練「ビッグレスキューかながわ」への米軍及び自衛隊の参加について、県から感謝を申し上げるとともに、今後想定される大規模災害への準備の重要性を確認した。

災害時における情報伝達

- ・ 米陸軍より、キャンプ座間に配置されている部隊が、地方自治体と在日米軍との間の円滑な連絡体制に寄与するとの話があった。
- ・ 米海軍からは、県・自衛隊・米軍の総合的な知識や経験を活用することで、より迅速で広範囲に及ぶ災害支援が可能となるとの話があった。
- ・ 米海軍より、これまで年 2 回実施していた県と在日米陸海軍との「防災通信訓練」について、実施回数を増やす提案があり、県及び米陸軍が同意した。

医療救護活動における日米連携

- ・ 大規模災害時の医療救護活動は重要であることから、医療救護活動での米軍との連携について、権限や能力の確認も含め、今後とも「ビッグレスキューかながわ」やスタッフによる検討の場などを通して、充実させていくことを確認した。

その他

- ・ 米海軍から、より有益な災害支援活動を行う観点から、米海兵隊 MV-22 オスプレイの有用性について発言があった。
- ・ 自衛隊から、自治体と自衛隊との通信手段の確保の重要性について発言があった。
- ・ 米陸海軍から、災害支援時の拠点として、厚木基地の重要性について発言があった。
- ・ 米陸海軍から、厚木基地周辺のレーザー照射に関わる、防衛省・県の啓発活動支援に感謝する旨の発言があった。

問合せ先

神奈川県政策局基地対策部基地対策課

課長 三森 電話 045-210-3370

副課長 中村 電話 045-210-3371